

中期計画（平成29年度～令和3年度）の実施状況 1 令和3年度

施策計画	重点取組	実施計画 (事業名)		区分	担当	令和3年度の取組状況	自己評価	自己評価についての見解	
1 来館者の拡大	—	101	視察・見学対応	受託	総務	<ul style="list-style-type: none"> ・4月25日から6月20日までコロナ緊急事態宣言でプラザが休館となり、吹田市内各小学校の見学は実施月の分散が可能な3校のみ実施。実施不可の市内小学校には施設案内DVDを配付。 ・「すいたのごみの歴史展」を日英での解説を添え展示室で常設展示。7月よりSDGsの17のゴールを日英中韓の4か国語で表示。 ・A棟4階に来館記念写真撮影用の背景となるプラザ全景写真を設置。 ・施設の使用許可については、コロナに起因するキャンセルは吹田市の指示により全額返金で対応（6件処理）。 	○	<p>各小学校と緊密に連絡を取り、可能なかぎり日程調整を行い実施（3学期での実施も）。</p> <p>「すいたのごみの歴史展」の常設展示を通じて吹田市とプラザの歩みを広く市民に紹介し、環境問題理解につなげた。</p> <p>吹田市主催のすいた環境教育フェスタ（WEB開催）で環境啓発動画コンテスト優秀作品を公開。</p>	
		103	施設の使用許可及び使用料徴収	受託	総務				
		215	展示コーナー	受託	業務				
		315	環境関連施設見学ツアー	受託	研究				
		324	市民・企業参画（共催等）	受託	研究				
		327	吹田市主催等イベント参画	受託	研究				
	①若年層の取込み		102	夏休み施設見学会対応	受託	総務	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため不特定多数を集客するイベントは実施できなかったが、イベント開催の予定日に事前申込制によるワークショップを開催。各回とも人気を博した。 ・らっくdeフリマも準備・撤去を含め人数制限をかけ、安全確保に留意しながら事業を展開 ・らっくdeフリマは出店者、購入者ともに高い人気を博しており、従来のイベント時のフリマの代替として完全定着した。 ・コロナ禍で中学校の職業体験受入れや大学生のインターンシップは依頼がなく未実施。 	○	<p>事前申込制の体験ワークショップは人気があり、毎回満席状態となった。イベントが実施可能となった場合でも本手法は有効と考えられる。</p> <p>新たな実践教室として外部講師を依頼した廃段ボール工作は好評を博した。</p> <p>くるくるショッピングエリアはレイアウト変更等の工夫で3密の回避を図った。コロナ禍においても利用者の好評を得ており、前年度を上回る実績となった。</p>
			212	イベント開催	自主	業務			
			213	啓発展示販売（くるくるグッズ等）	自主	業務			
			214	啓発展示販売（らっくdeフリマ）	自主	業務			
			216	あげます・もらいますコーナー運営	受託	業務			
			219	職業体験・大学関係等支援	自主	業務			
			311	環境出前講座	自主	研究			

評価について

○改善傾向

—変化なし

×悪化傾向

中期計画（平成29年度～令和3年度）の実施状況2 令和3年度

施策計画	重点取組	実施計画 (事業名)		区分	担当	令和3年度の取組状況	自己評価	自己評価についての見解	
1 来館者の拡大	②リピーターの確保と拡大	201	工房運営	受託	業務	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため不特定多数を集客するイベントは実施できなかったが、イベント開催の予定日に事前申込制によるワークショップを開催。各回とも人気を博した。リピーターとして参加する若年層の保護者と子どもも定着を見せている。 ・メール連絡先を本人同意のもとに提示してもらい案内連絡した。これによりリピーター拡大に繋がった。 ・実践教室で製作する内容を、実施時期を勘案しハロウィンやクリスマス等の季節行事に因んだ作品にしたことが人気を博した。 ・出店者が続けて出店申込をするケースも多いが、より多くの人に出店機会を与える方法についても検討している。 	○	<p>少人数で、短時間の体験ワークショップは、人気があり、若年層を中心にリピーターも生み出した。</p> <p>再生成果品や実践教室での提供作品のレベルが向上したことが、好評を得ている。</p> <p>らっくdeフリマの来室者は前年度に比べ倍増を見せた。</p>	
		211	実践教室開催	自主	業務				
		212	イベント開催	自主	業務				
		213	啓発展示販売（くるくるグッズ等）	自主	業務				
		214	啓発展示販売（ラックdeフリマ）	自主	業務				
		216	あげます・もらいますコーナー運営	受託	業務				
2 PRの充実	—	215	展示コーナー	受託	業務	<ul style="list-style-type: none"> ・展示室での4か国語でのSDGsの17の目標表示の他、A棟入口に同目標とプラザ各事業との関連を掲示。 	○	SDGsの目指す社会の実現に向けたプラザの取組を明確化した。	
	①HP、SNSの有効利用	104	施設及び附属設備等の維持管理	受託	総務	<ul style="list-style-type: none"> ・HPを活用(動画も使用)し、ネット申込を可能とした再生家具の抽選販売の実施 ・ワークショップ参加者にメールアドレスの登録をしてもらい、次回の催し等の配信を各個人宛に一斉送付できる体制を整備。 ・月齢自転車の販売情報をHPにアップした。 		準備に時間を要するが、コロナ禍での市民の便の向上に貢献した。	
		②機関紙、情報紙の活用	218	情報紙「くるくるプラザ」発行	自主			業務	アドレス収集は、効率的で有効性の高い宣伝活動のための資産となった。
	③外部情報誌や周辺施設の活用	112	情報提供	自主	総務	<ul style="list-style-type: none"> ・サンケイリビング北摂・北摂東版に「くるくる環境スクール」の募集広告を実施。 		○	北摂の広範囲に亘って宣伝を実施し、定員の5人上回る応募があった。
		212	イベント開催	自主	業務				
		323	市民・企業参画（ごみゼロ、アースフェスタ）	受託	研究				<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、「Inforestすいた」(expocity内)で7月に出張展示

中期計画（平成29年度～令和3年度）の実施状況3 令和3年度

施策計画	重点取組	実施計画 (事業名)		区分	担当	令和3年度の取組状況	自己評価	自己評価についての見解
3 コンテンツの更なる充実	①講演会や実践教室の充実	201	工房運営	受託	業務	・木工工房で新たに実施した包丁研ぎが好評	○	物を大切に使い続ける精神と技術の伝承の場として有効。参加者33名
		211	実践教室開催	自主	業務			
		302	脱温暖化啓発	受託	研究	・くるくる環境スクールを市民研究員開拓として取り組み8名の新規市民研究員が加入した。 ・環境啓発動画コンテストに他県の高校の参加が増え、応募作品も増加傾向を見せている。 ・段ボール工作や市民による体験など、広がりが見られた。	○	市民工房や実践教室は広く市民が環境問題に興味を持つ導入の施策として位置づけ、その有用性を正しく見極めて継続や充実を図った。 環境教育啓発の根幹をなす事項であり今後も継続する。
		311	環境出前講座	自主	研究			
		313	環境問題講演会開催	受託	研究			
		323	市民・企業参画（ごみゼロ、アースフェスタ）	受託	研究			
		324	市民・企業参画（共催等）	自主	研究			
		325	環境啓発（キッズスクール）講座	受託	研究			
	326	入門講座・研修講座開催	自主	研究	環境改善に寄与するテーマで主担研究員、外部からの講師を招聘して実施	○	減少傾向にある市民研究員の増員に有効な手段であり、今後も意欲的に取組みたい。	
	②工房成果品の充実	201	工房運営	受託	業務	抽選販売終了後で申込のない自転車先着順で販売した。	○	毎月販売分が完売したため、継続したい。
213		啓発展示販売（くるくるグッズ等）	自主	業務				
4 協働体制の構築	—	111	プラザメイト	自主	総務	・コロナ禍でリユース食器事業は、低調であるものの、食器洗浄事業を試みた。	×	A社の希望が折り合わず、令和3年度で洗浄事業は終了した。B社は継続。
		316	リユース食器貸出	自主	業務			
	①企業・事業者との協働	212	イベント開催	自主	業務	・パナソニックの協力を得てLEDを使ったワークショップを継続的に実施 ・段ボール工作や市民による体験など、新たな広がりが見られた。	—	協働の広がりが従来の延長線上に留まっている。今後は面での拡大に繋げる必要がある。
		302	脱温暖化啓発	受託	研究			

中期計画（平成29年度～令和3年度）の実施状況4 令和3年度

施策計画	重点取組	実施計画 (事業名)		区分	担当	令和3年度の取組状況	自己評価	自己評価についての見解					
4 協働体制の構築	①企業・事業者との協働	313	環境問題講演会開催	受託	研究	「SDGs」と食品ロスを出さない冷蔵庫収納をテーマに福田かずみ氏に講演依頼	○	時勢を捉えたテーマの講演を実施した。参加者の日常生活に密着した切り口の講演は好評であった。					
		311	環境出前講座運営	自主	研究								
		328-4	くるくるフォーラム実施	自主	研究								
		324	市民・企業参画（共催等）	受託	研究								
		327	吹田市主催等イベント参画	受託	研究								
		328-1	調査・研究・実践（研究活動）	自主	研究								
	②団体・大学・学生サークルとの協働	212	イベント開催	自主	業務	・新型コロナ予防のため不実施	-	不特定多数の参加や感染のリスクがある取組については、残念ながら実施を見送らざるを得ない状況が継続した。					
		219	職業体験・大学関係等支援	自主	業務								
		302	脱温暖化啓発	受託	研究								
		313	環境問題講演会開催	受託	研究								
		311	環境出前講座運営	自主	研究								
		324	市民・企業参画（共催等）	受託	研究								
		327	吹田市主催等イベント参画	受託	研究								
		328-4	くるくるフォーラム実施	自主	研究								
		328-1	調査・研究・実践（研究活動）	自主	研究								
		5 新たな環境学習基地への布石	①新規学習支援プログラムの開発	219	職業体験				受託	業務	・前年度から実施予定でコロナ禍のため中止した「キッズ環境スクール」の開催をした	○	バス見学时乗車人員を制限して感染リスクに意を払い等参加者の理解の下に実施できた。
				311	環境出前講座				自主	研究			
				312	環境学習発表会及び展示発表会開催				自主	研究			
313	環境問題講演会開催			受託	研究								
326	入門講座・研修講座開催			自主	研究								
328-4	くるくるフォーラム実施			自主	研究								
328-1	調査・研究・実践			自主	研究								

中期計画（平成29年度～令和3年度）の実施状況5 令和3年度

施策計画	重点取組	実施計画 (事業名)		区分	担当	令和3年度の取組状況	自己評価	自己評価についての見解
6 人事・ 財務計画	①人事体制	—	—	—	—	・年度途中で退職者がでたが、速やかに公募し3月に欠員補充	—	欠員状態を最小限に抑えた。
	②人材育成	113	職員研修	自主	総務	・大阪市内で経理関係事務の研修を受けた(2名参加)	—	コロナ対応での実施を確認して参加した。
	③柔軟な組織運営	328-2	研究運営委員会	自主	総務	・Zoom参加による謝金額減額	—	交通費不要、通勤時間分の自由が増加するため謝金減額を行った。
	④内部統制	—	—	—	—	①新型コロナ対応でリモート勤務の可能性を検討した。 ②同居者がコロナ濃厚接触疑いの場合、陰性確認までの間、本人同意の下で施設内別室勤務とした	—	①個人情報保護の問題を解消できる術を見つけて実施したい。 ②人権問題にも配慮した運用であり、今後も柔軟に対応したい。
	⑤財政基盤の安定化	111	プラザメイト	自主	総務	創設期からの制度を改めて見直し改善検討をした	—	次年度から加入要件を検討
	⑥指定管理	103	施設の使用許可及び使用料徴収	受託	総務	コロナ禍で使用は減少している	—	コロナ対策を施した貸室運営を心がけているが、やむを得ない。
	104	施設及び附属設備等の維持管理	受託	総務				
7	進行管理		PDCAサイクルの活用	自主	総務		—	